

# コロナ検査・外来患者負担

## 5類移行後 高額入院費は軽減

新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行するのに伴い、政府が検討している医療体制見直し案の内容が判明した。現在は無料となっている検査や陽性判定後の外来診療は、移行日求められる。入院費も自己負担を原則とするが、高額に

なる場合は九月末まで月に最大二万円を軽減。価格の高い治療薬は引き続き無料とする。高齢者の入院先を増やすため、受け入れ医療機関への診療報酬を加算する。関係者が明らかにした。

政府は見直し案を十日に発表。都道府県に医療機関の確保などの「移行計画」を四月中に作成してもらい

る場合

は、高齢者施設でクラスター（感染者集団）が相次ぎ病床逼迫の要因になつた。

高齢者は介助に入手が

かり、入院が長期化する傾

向にあるため、リハビリや退院支援が整つた「地域包

括ケア病棟」などの積極

的な受け入れを促し、新たに診療報酬を加算する。

外来や入院に対応する医

療機関に手厚くしていった診

療報酬の特例措置は段階的

に縮小。病床確保の補助金

は減額する。

う自己負担額を試算。窓口負担割り人は現在、外来

での初診料などに一千五百九十円かかるが、移行後は

は約三千を中心を受け入れを巡めたい考え方だ。

オミクロン株が主流とな

った流行「第六波」以降

は、高齢者施設でクラスター（感染者集団）が相次ぎ病床逼迫の要因になつた。

高齢者は介助に入手が

かり、入院が長期化する傾

向にあるため、リハビリや

退院支援が整つた「地域包

括ケア病棟」などの積極的

な受け入れを促し、新たに

診療報酬を加算する。

外来や入院に対応する医

療機関に手厚くしていった診

療報酬の特例措置は段階的

に縮小。病床確保の補助金

は減額する。

5月8日	
現在	5類移行
初診料	自己負担
陽性判明後の治療	自己負担 → 当面9月末まで
外来	自己負担
入院	自己負担 → 当面9月末まで

患者の診療は重点医療機関や発熱外来が主に当たつているが、五類移行後は一般的の病院や診療所を含めて対応し、入院調整も行政から病院間での実施に切り替えていく。

政府は現在の発熱外来の一・五倍となる約六万四千の一般医療機関で診療するとともに、入院患者は治療実績がある約五千の医療機関（難症と一部の中等症者向けは約二千、重症者向け

は、患者が医療機関で支払を原則とするが、高額に

は約三千）を中心を受け入れを巡めたい考え方だ。